

挑戦と成長の毎日

中部学院大学短期大学部社会福祉学科

ピョー ヤイー モン カイン

2025年度文部科学省学習奨励費受給者

日本での留学生活は、私にとって人生の中でも特に大きな意味を持つ経験です。異なる国で生活することは決して簡単ではありませんが、その分、自分自身を成長させてくれる貴重な機会でもあります。毎日の小さな出来事の中に、多くの学びと気づきがあります。

まず、日本に来て感じたのは、社会全体がとても整っているということです。電車は時間通りに運行され、人々はルールやマナーをしっかりと守っています。例えば、電車の中では静かに過ごす人が多く、公共の場で周りに迷惑をかけないように気を配る姿が印象的でした。最初は少し緊張しましたが、徐々にそのような環境に慣れ、自分も自然と周囲に配慮するようになりました。このような経験を通して、社会の一員としての責任を学んだと思います。

日本語での生活は大きな挑戦の一つでした。授業で学ぶ日本語と、実際の会話で使われる日本語には違いがあり、最初は戸惑うことが多くありました。特にアルバイト先では、敬語や接客用語を使う必要があり、うまく話せずに落ち込むこともありました。しかし、周りの人が優しくサポートしてくれたおかげで、少しずつ自信を持って話せるようになりました。間違いを恐れずに話すことの大切さを実感しています。

また、日本での留学生活では、多くの友人と出会うことができました。日本人だけでなく、さまざまな国から来た留学生と交流することで、それぞれの文化や考え方に触れることができました。同じ留学生同士だからこそ分かり合える悩みもあり、互いに支え合いながら生活しています。こうした出会いは、私にとって大きな財産です。

一方で、留学生活には大変なこともあります。家族と離れて暮らす寂しさや、文化の違いによる戸惑いなど、時には不安になることもあります。しかし、そのような経験を乗り越えることで、自分が少しずつ強くなっていると感じます。困難な状況でも前向きに考える力が身につきました。

さらに、日本での生活を通して、自分の将来について深く考えるようになりました。どのような仕事に就きたいのか、どのような人間になりたいのかを真剣に考える機会が増えました。留学は単に知識を学ぶだけでなく、自分自身と向き合う時間でもあると思います。これからも、日本での経験を大切にしながら、さまざまなことに挑戦していきたいです。そして、この留学生活で得た学びや経験を将来に生かし、自分の夢を実現できるよう努力していきたいと思います。